

原田病院外来診察担当表 (2021年●月●日～)

●診察時間:午前9時～12時 午後4時～6時 ●受付時間:午前9時～12時 午後3時30分～6時

☆当院では待ち時間短縮のため午前中の診察は予約制となっております☆

□一般内科外来 □糖尿病外来 □泌尿器科外来 □整形外科外来 □慢性腎臓病(CKD)外来 □在宅血液透析(HHD)外来

		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
午前 来	1診	山下(和)	山下(秀)	重本	西澤	荒川	重本
	2診	土井俊樹	西澤	水入(腎臓内科)	水入(腎臓内科)	山下(秀)	山下(和)
	3診	佐々木	大下	土井俊樹	中野(喜)(呼吸器内科)	大下	佐々木
	4診 DM	内藤(則)	小林(貴)	内藤(則)	向井	向井	DM 広大
	5診	安達	原田	DM/11:00～特定健診 田中	小林(貴)	松坂	(第1・3・5週目)/(第2・4週目) 土井俊郎(整形外科)/岡野(整形外科)
	6診 初診	森井	松坂	大久保	森本	長澤	小林(知)
	7診	藤井(血液内科)	藤田	藤田	藤田	藤田	広大
	8診	—	—	—	—	—	長澤
午後 来	1診	15:30～16:00(予約) 16:00～18:00 荒川	16:00～18:00 有吉	15:00～16:00(PD) 16:00～18:00 土井俊樹	15:30～16:00(予約) 16:00～18:00 大久保	15:30～16:00(予約) 16:00～18:00 弓場	15:00～16:00(予約) 16:00～18:00 有吉
	2診	14:30～16:30(不定期) 呼吸器 濱田	14:00～16:00/16:00～18:00 呼吸器/一般内科 宮本	16:00～18:00 弓場	14:00～16:00 PD 西澤	16:00～18:00 呼吸器 濱田	15:00～17:00 DM 広大
	3診		14:20～16:00 CKD 水入	15:00～18:00(第2・4週) 血液内科 西澤(正)	14:40～16:20 CKD 水入	14:30～16:00 CKD 西澤	16:00～18:00 CKD 森井
	4診	14:30～17:30 (中島)	14:00～16:30(第2・4週) 循環器 中野(由)	13:00～14:00 禁煙外来 内藤(則)	—	—	—
	5診	14:30～17:30 中島	15:30～17:30 原田	16:00～18:00 呼吸器 中野(喜)	—	13:00～16:00 移植シャント外来 札幌	—
	7診	13:30～16:00 フットケア 大下	13:30～16:30 リウマチ・膠原病 荒木	14:00～17:00 循環器 秦	—	13:30～16:30 リウマチ・膠原病 舩田	—
	8診	—	14:30～15:00/13:00～16:00 HHD 西澤/移植シャント外来 札幌	—	—	—	—

※手術・救急・学会などにより担当医が予告なく変更になることがあります。

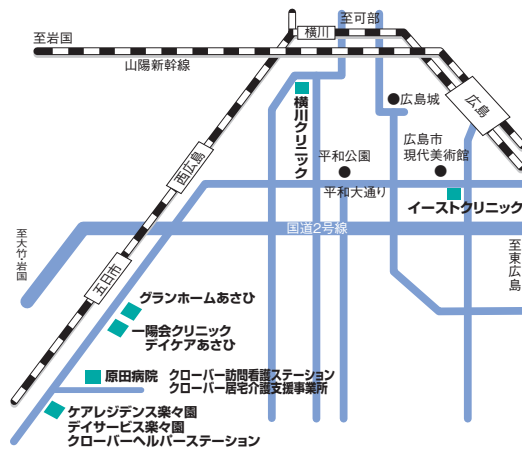
一陽会

原 田 病 院	院長 重本 憲一郎
〒731-5134 広島市佐伯区海老山町7番10号 TEL 082-923-5161 FAX 082-921-8035	
一 陽 会 ク リ ニ ッ ク	院長 碓井 公治
〒731-5133 広島市佐伯区旭園10番3号 TEL 082-924-0033 FAX 082-924-0037	
デ イ ケ ア あ さ ひ	所長 寺沢 由香
〒731-5133 広島市佐伯区旭園9番31号 TEL 082-943-8610 FAX 082-943-8600	
イ ー ス ト ク リ ニ ッ ク	院長 有田 美智子
〒732-0814 広島市南区段原南1丁目3番53号 広島イーストビル6F TEL 082-506-0123 FAX 082-567-7115	
横 川 ク リ ニ ッ ク	院長 内藤 隆之
〒733-0011 広島市西区横川町2丁目7番19号 横川メディカルプラザ3F TEL 082-231-0111 FAX 082-231-0155	
グ ラ ン ホ ー ム あ さ ひ	施設長 三上 タ子
〒731-5133 広島市佐伯区旭園9番31号 TEL 082-943-7773 FAX 082-943-8600	
クローバー訪問看護ステーション クローバー居宅介護支援事業所	所長 大泉 淳 所長 平田 恵美
〒731-5134 広島市佐伯区海老山町7番10号(原田病院内) TEL 082-925-6222(訪問看護) 082-925-6221(居宅介護) FAX 082-925-6223(共通)	
ケアレジデンス楽々園 デイサービス楽々園 クローバーヘルパーステーション	施設長 小嶋 加代子 所 長 西 幸子 所 長 甲斐 慎一郎
〒731-5136 広島市佐伯区楽々園3丁目14番3号 TEL 082-943-8686(ケアレジデンス楽々園) 082-943-8585(デイサービス楽々園) 082-943-7088(ヘルパーステーション) FAX 082-943-8588(共通)	

発行 一陽会広報委員会

〒731-5134 広島市佐伯区海老山町7番10号
TEL 082-923-5161(代) FAX 082-921-8035
ホームページ <http://www.icy.or.jp> E-mail info@icy.or.jp (一陽会 広報室)
ご意見・ご質問があれば上記の一陽会広報室までご一報ください。

周辺地図



あとがき

新型コロナウイルス感染症の拡大によって、感染対策用品は生活に欠かせないものとなりましたが、製品によって「抗菌」「除菌」「殺菌」「消毒」「滅菌」などの表現が使われていて選択に迷うことがあります。◆「抗菌」は菌の繁殖を防ぐことで菌を除去や殺す効果はなく、「除菌」とは菌を減らす効果ですが、減らす程度の定義はないそうです。「殺菌」は菌を殺す効果ですが死滅させる菌の量に明確な定義はなく、例えば90%の菌が残っても10%が殺せていれば「殺菌」といえるそうです。◆「消毒」とは、人体に有害な菌を害のない程度にする“無毒化”で、死滅させていなくとも感染力を不活性化させることで消毒とされ、「滅菌」は有害・無害を問わず全ての菌を死滅・除去し、残量が100万分の1になることで滅菌とされます。◆昨年の今頃は感染対策用品が不足し世界中が大混乱になりましたが今ではそれも容易に入手できるようになり、用途に合った用品が選べるようになりました。またワクチン接種も始まるなど感染対策は確実に前進しています。近づきつつあるコロナ禍収束の日でもう少しの間マスク・手洗いなど感染対策の習慣を継続していきましょう。

あさひ

一陽会広報誌

令和3年
春号
vol.67

題名「春のバルビゾン」

撮影：管理本部 教育部長 新田千恵美

一陽会 基本理念

- 1 愛情ある奉仕の心を以て地域医療・介護に貢献する。
- 2 和衷協同して技術の向上と人格の形成に努める。
- 3 誠心と創意工夫を以てその職責を全うする。

一陽会職員は、「愛・和・誠」を是訓として、日々の診療にあたっております。

患者の権利

- 1 患者は人としての尊厳を維持する権利を有する。
一陽会の職員は患者のプライバシーの保護に努めるとともに、人としての尊厳を重視する。
- 2 患者は納得できる医療を受ける権利を有する。
一陽会の職員は患者に必要な情報提供を行い、インフォームドコンセント(説明と同意)に努める。
- 3 患者は医療機関選択の自由の権利を有する。
患者にはいかなる治療段階においても他の医師等の意見をもとめる権利(セカンドオピニオン等)があり、一陽会はこれを支援する。

原田病院 基本方針

- 1 地域ニーズに応える地域密着型の病院をめざす。
すなわち、高齢化が進む今日、高齢者の急性期医療を担うという当院の役割を明確にする。その為に、病診・病病連携を密にし、紹介患者の受け入れ、及び回復後の逆紹介を励行する。
- 2 医療、介護、福祉の関連機関と協力して、在宅医療を支援・推進する。
また医療の質を高めることにより早期社会復帰、平均在院日数の短縮をはかり、急性期型病院を維持する。
- 3 腎疾患、糖尿病、透析を中心とした急性期医療を提供する。
特に透析医療では、当地区において中心的役割を果たすよう努力する。
- 4 患者中心の医療を目指す。
すなわち患者の権利、尊厳、利益、希望を尊重した医療を実現するため、相談窓口、検討機関を広く設け、積極的に実施する。

「地域包括ケア病床」開設(原田病院)

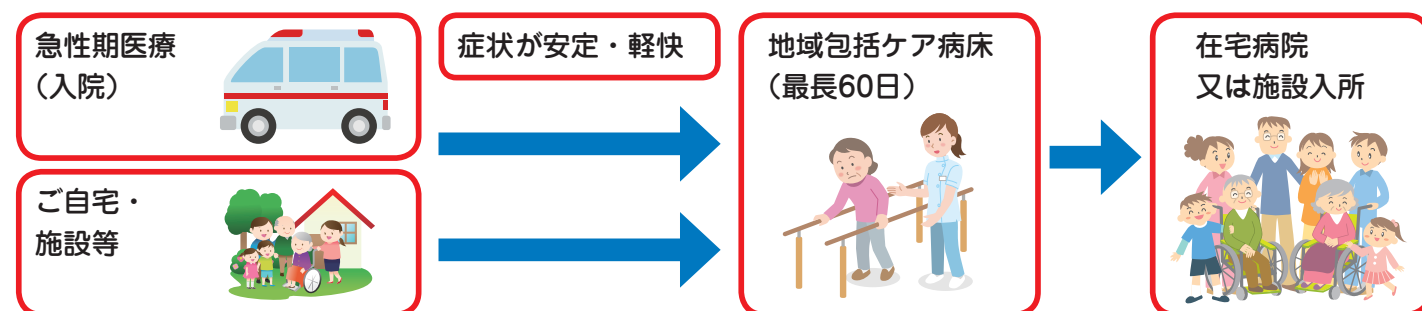
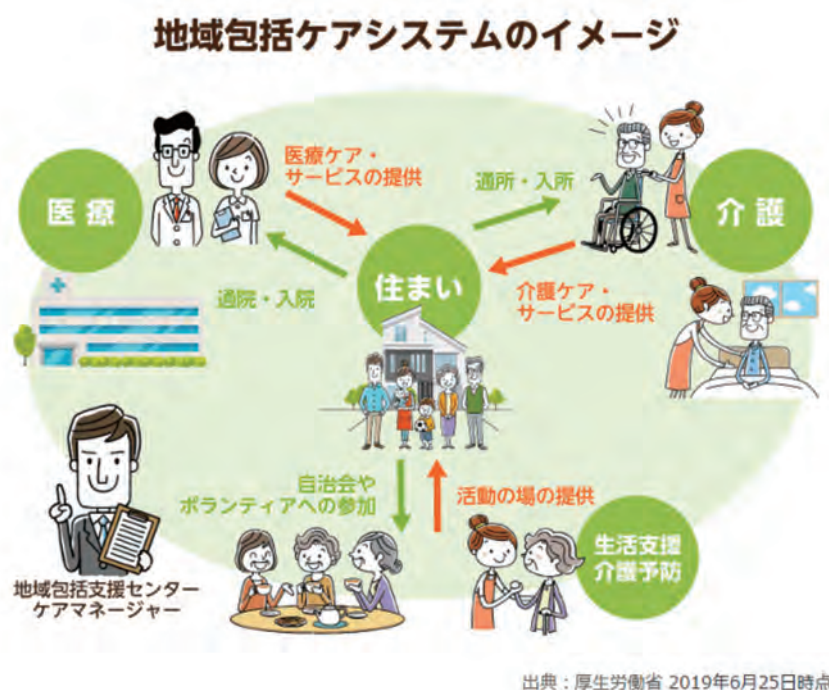
原田病院では昨年10月1日より、2病棟に15床の地域包括ケア病床を開設しています。

「地域包括ケア病床」とは、急性期医療を経過し、症状が安定した患者さんに対して、自宅や介護施設への復帰に向けた医療や支援を行う病床です。また、救急診療を要さないものの自宅や施設での生活が難しい時にも入院ができます。急性期医療と在宅をつなぐ大きな役割があり「地域で暮らしていくこと」をサポートする地域包括ケアシステムの一翼を担っています。

原田病院はこの地域包括支援システムを支える病院の一つとして、多職種連携のもと在宅支援を行っています。患者さん、ご家族の「住み慣れた家で暮らしたい」という思いに応えられるように医師、看護師、リハビリ専門職、社会福祉士、栄養士、薬剤師、事務職員が協働し、それぞれの立場で「療養生活の専門家」として安心して在宅に移行できるようお手伝いさせていただきます。

◆対象となる患者さん

自宅あるいは施設に復帰予定で、もう少しの間リハビリや在宅復帰に向けた準備が必要な方です。在宅復帰の準備が整った後に退院となります。(最長60日)



◆入院に対する留意点

一般的な血液検査・レントゲン検査・投薬治療は可能ですが、一般病床で行うような高額な医薬品の投与や特殊な検査・手術などには対応できません。症状の変化により主治医が集中的な治療が必要と判断すれば、一般病床に転床する場合があります。入院費は地域包括ケア病棟入院料として計算しますが、1か月の医療費負担の上限は一般病床と変わりません。

(食事代、個室利用料、寝衣、おむつ代などは別料金となります)

このシステムを実施していくうえで一番大切なことは「コミュニケーション」です。急性期医療と在宅をつなぐ架け橋として、院内外を含め多くの方々との関わりを大切にしていきたいと思ひます。

看護部 副部長 飯村久二子

※「地域包括ケア病床」についてのご相談等は地域連携室、入退院支援師長までお問合せ下さい。

ケア事業部トピックス Vol.7

デイケアあさひ

デイケアあさひは平成28年10月にデイサービスからリハビリテーションを中心としたデイケアに変わりました。心身機能の維持や機能回復に重点を置いたサービスを充実させ、在宅での生活を維持するため、理学療法士、作業療法士によるリハビリ、最新のトレーニング機器によるトレーニングを行っています。

トレーニング機器は、骨盤の安定性を高め、歩行やふらつきを解消す



るもの、下肢の筋肉を強化し日常生活に必要な筋力を強化するもの、高齢者特有の猫背を予防・改善するものなどがあります。その他、高齢者に多い転倒を予防するためスクワット、ももあげ、かかとあげなどの転倒予防体操も行っています。

大浴場は温泉気分を味わえる桧風呂と岩風呂があり、お昼には自前の刻み、ミキサー、ムース食、及び透析食もご用意できます。

現在、新型コロナウイルス感染対策として、食堂に飛沫防止パネルを設置し、空気清浄機を活用し換気に努めています。また、送迎時には手指消毒を行い、うがい、手洗い、体温測定なども徹底して行っています。

無料体験も行っていますのでぜひご利用ください。職員一同お待ちしております。

デイケアあさひ 所長 寺沢由香

オンライン面会のお知らせ

現在、グランホームあさひ・ケアレジデンス楽々園では新型コロナウイルス感染対策として、感染状況に応じて面会や外出の制限をさせて頂いております。このような状況が続く中、入居者さまとご家族さまの面会機会を確保するため、無料WEB会議アプリ「Zoom」を利用したオンライン面会を実施しております。

遠方にお住いの方・海外在住のご家族にもご利用頂き大変喜んで頂いています。オンライン面会の利用・申し込み方法につきましては右記QRコードよりご確認、もしくはお電話にてお問い合わせください。



グランホーム
あさひ
☎082-943-7773



ケアレジデンス
楽々園
☎082-943-8686

腎臓リハビリテーション
(腎リハ) についてリハビリテーション科
腎臓リハビリテーション指導士
飯村 哲也

慢性腎臓病(CKD)患者さんは近年増加傾向にあり日本では1330万人を超え、新たな国民病と考えられています。またCKDが末期になると腎代替療法が必要となり、最近では腎移植を選択する方も増えてきていますが、依然として多くの患者さんが透析治療を選択されています。さらに近年の超高齢化により高齢での透析導入も増えてきています。血液透析患者さんでは合併症・併存疾患を多く有しており、またそれに伴い身体機能も低下している場合があります。高齢での透析導入では、導入時点ですでに身体機能が低下しており、日常生活や外出時などで困難を感じている方も少なくありません。

当院ではCKD治療において多くの実績がありますが、今後は今まで以上に身体機能や患者さんの生活に目を向けた取り組みが必要と考えており、その一つが腎臓リハビリテーション(以下: 腎リハ)であると思っています。

●包括的アプローチの重要性

腎リハは「腎疾患や透析医療に基づく身体的・精神的影響を軽減させ、症状を調整し、生命予後を改善し、心理社会的並びに職業的な状況を改善することを目的として、運動療法、食事療法と水分管理、薬物療法、精神・心理的サポートなどを行う、長期にわたる包括的なプログラム」と定義されます。つまり腎リハはCKD患者さんに対するトータルケアを目的としており、そのために医師、看護師、臨床工学技士、薬剤師、管理栄養士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、社会福祉士が密に連携をとれるような体制を作り、患者さんの社会復帰やより良い生活を送れるようサポートしていく必要があると考えています。

●腎リハにおいて理学療法士としてできること

前述した通り腎リハは多職種との協働が不可欠ですが、ベースとなるのはそれぞれの持つ専門性となります。私は理学療法士として約5年、一陽会でリハビリ業務に携わらせていただいております。そこで多くのCKD・透析患者さんのリハビリを担当させて頂く中で、同年代の方と比べて身体機能が低下していることや、入退院を繰り返される方が多いことに気づかされました。そしてそういった患者さんは運動習慣が少なく、普段の活動範囲は家の中に限られてい



原田病院透析室

る場合が多いと感じています。CKDは体力の低下を引き起こしますが、そこに運動の方法や頻度がわからない、運動する場所がない等が加わり活動性の低下・身体機能の低下を引き起こしていると考えられます。

そこで理学療法士として、対象となる患者さんの身体機能の把握と必要な運動の指導、場合によっては医師の指示のもと個別のリハビリテーションの実施も必要となると考えています。運動自体はそれほどハードなものは行わず、比較的軽めの内容が多くなると思います。その中には自宅でできるものも多くあるので、ホームエクササイズとして実施することも可能です。



スクワット

運動療法は大きく筋力トレーニングと有酸素運動の2種類に分けられます。筋力トレーニングは重りや自重を用いてよく使う筋肉からトレーニングを始めます。特にスクワットは効果的な筋力トレーニングの代表格です。また有酸素運動はウォーキングが推奨されますが、そもそも歩くことが難しかったり、新型コロナウイルスの影響で外出を控える人もおられると思います。最近では簡易のエルゴメーターが一般に販売されているため、そういったものを活用することも有酸素運動を行う一つの方法となります(写真)。また比較的活動性の高い方には歩数計による身体活動量の管理をお勧めしています。普段の活動量(1日の歩数)にプラス1000歩したものを目標にすることで日々の活動量を管理しつつ無理のない範囲での運動を継続することができます。



ウォーキング



簡易エルゴメーター

以上が一般的な運動療法の大まかな内容ですが、これらはCKD・透析患者さんにおいても安全で効果的であることが多くの研究からわかってきました。また適切な運動療法は、生命予後を改善できるといった研究結果もみられています。

●腎臓リハビリテーション指導士としてのこれから

現在当科では病気やケガをされたCKD・透析患者さんのリハビリは行っていますが、日々の健康維持・促進に向けての取り組みが未着手になっています。特に透析患者さんでは日常生活や透析通院に問題を抱えている方が少なくなく、その要因は身体機能のほかに健康状態、薬剤、栄養状態、精神状態、社会的問題など多岐にわたります。これからはそのような問題の解決にチームの一員としてアプローチできるよう取り組まなければならないと感じています。腎リハとしての包括的アプローチにおける各専門職との橋渡しの役割として少しでも貢献できるように頑張っていきたいと思っています。

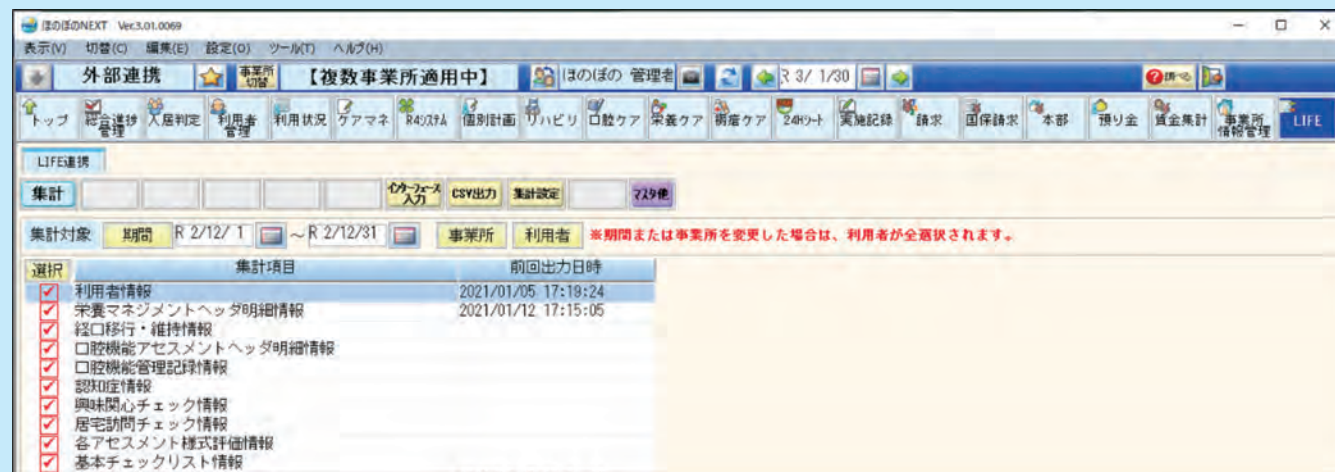
介護支援システム更新

ほのぼのNEXT[®]

昨年9月、一陽会の介護施設(グランホームあさひ、ケアレジデンス楽々園、デイケアあさひ、デイサービス楽々園)、介護事業所(クローバー居宅介護支援事業所、クローバーヘルパーステーション)およびクローバー訪問看護ステーションの介護関連情報を一元で管理できるよう、システムを更新いたしました。

今回更新した介護システム「ほのぼの」シリーズは介護システムの基本的な機能だけでなく、実績入力から請求処理、ケアプラン作成から個別援助計画作成など、一連の業務を効率的に行えるよう設計されており、利用者さまの様々な情報をトータルで管理できるシステムです。また介護関連情報を一元管理することにより、各介護施設・事業所や訪問型サービスの間でも情報が共有されるため、より安全で、きめ細かく効率的な介護サービスの提供が可能になりました。

このたびの更新を、利用者・ご家族さまにとって有意義なものにしていくよう、今後とも努めてまいります。



屋上庭園 開花 ケアレジデンス楽々園

屋上庭園のチューリップやクリスマスローズが開花し始めました。昨年、株分けした胡蝶蘭にも花が咲きました。施設見学に来られることなどがあれば、是非ともご鑑賞ください。

クリスマスローズ



チューリップ



胡蝶蘭



Column いきいきさん

イーストクリニック 臨床工学科
主任 松井未紀



笑顔で通っていただける環境づくりに努めてまいります。

2006年4月に入職し、原田病院、一陽会クリニックを経て、今のイーストクリニックに臨床工学技士として勤務しております。看護度の高い方から自立されている方、様々な患者さんと接する機会を頂き、多くの方々に支えられながら、さまざまな経験をさせていただきました。

臨床工学技士でありながら、機械のメンテナンスだけでなく、直接患者さんに関わる仕事もでき、やりがいを感じています。透析は一生継続治療になりますが、透析に通うストレスが少しでも軽くなるよう、笑顔で通っていただけるような環境づくり、そして、安全に治療が行えるように、これからも努めてまいりたいと思います。



健康レシピ 生姜風味鶏ハム



鶏むね肉はたんぱく質が豊富に含まれている食材として有名です。たんぱく質は身体を作り、免疫力を高める効果やホルモンや酵素の合成にも関わります。健康を維持するためにもたんぱく質は毎日摂取したい栄養素です。エネルギーや脂質が気になる方は、皮なしで調理するとエネルギーと脂質を抑えながら、たんぱく質を摂取することもできます。

今回は鶏むね肉の水分が外に出ないよう、糖分を含んだ下味をつけ、低温でじっくり加熱することでパサツキを抑えています。温かいままでも、粗熱をとって袋ごと冷蔵庫で冷ましてもおいしく召し上がれます。サラダやサンドウィッチにしても美味しいので、作ってみてはいかがでしょうか。

エネルギー：206Kcal/
たんぱく質：13.1g／脂質：15.5g／塩分：1.3g
(漬けダレ込みの栄養成分値)

《材料(2人分)》

鶏むね肉(皮つき)……………1枚(200～250g程度)
生姜のすりおろし……………大さじ1(15g)(チューブ可)
しょうゆ……………小さじ1(6g)
調味料 砂糖……………小さじ1(3g)
A 塩……………小さじ1/2(3g)
ごま油……………大さじ1(12g)

準備物

フォーク
ジッパー付き袋(耐熱用)
蓋つき大きめの鍋

《作り方》

- ①鶏むね肉全体にフォークで穴をあけ、耐熱タイプのジッパー付きポリ袋に入れる。
- ②①にAを加えてよくもみ込み、袋の中の空気を抜いて口を閉じ、常温で15～20分ほどおく。
- ③大きめの鍋にたっぷりのお湯を沸かす。②をなべ底にあたらないよう袋の口を持ったまま湯の中に入れ、再沸騰後1～2分程度茹で、火を止める。袋ごと湯の中に沈め、蓋をして1時間以上おく。
- ④薄く切り、お皿に盛り付ける。

栄養士 大谷 梨乃